

平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人潤和会

平成 30 年度

社会福祉法人潤和会 事業報告書 目次

1. 平成 30 年度まとめ	1
2. 法人事業概要	2
3. 理事会状況	3
4. 評議員会状況	4
5. 職員状況	5
6. 運営組織図	6
7. 職員会議等	7
8. 運営委員会	7
9. 施設全体行事等	10
10. 職員研修等	12
11. 特別養護老人ホームなごみ事業	15
12. ショートステイなごみ事業	19
13. デイサービスセンターなごみ事業	23
14. ケアハウスひだまり事業	27
15. その他	32

1. 平成30年度まとめ

改正社会福祉法が平成29年4月1日に施行され二年目となる平成30年度は、改正法に対応した法人体制、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取り組み等について、所轄庁の指導を仰ぎながら、また他法人等からの情報収集により、不十分な点についてより一層取り組んだ年度となった。

各事業所運営は、これまで同様に職員の資質向上に重点を置き、各委員会主体の施設内研修の充実、また外部研修への積極的な参加促進を行い、ご利用者個々に応じた高品質ケアの実現を目指した。

また、平成30年4月に施行された介護報酬改正では、全体での改定率+0.54%となったが、これは介護職員処遇改善加算のプラスによるところが大きく、また通所介護においては、またも実質マイナス改定となり当法人の通所介護事業所においても報酬改正への対応から、これまでの運営体制の転換を余儀なくされ、それはまた稼働率の低下へとつながるものであった。

さらに各事業所運営において、平成30年度においてこれまで以上に深刻となった課題は、他の業界、他の同業事業所同様に職員不足である。

他業種への転職者の増加、求人に対する応募者の減少が顕著となり、特に介護職員の確保および定着については、今後も事業所運営においての大きな課題として取り組んでいかねばならない。

法人の展開する事業が老人福祉、介護保険という制度内事業である以上、制度改正、さらに人手不足に代表されるような社会情勢等、我々を取り巻く環境は常に変化し、その時々状況、課題に対処しなくてはならない。

しかし、いくら環境が変わろうとも、常にご利用者本位のサービス、またその実現のための職員が働きやすい職場環境の整備、こうした基本的方針については、決してぶれることなく今後もより一層努めてまいりたい。

2. 法 人 事 業 概 要

- (1) 法 人 名 社会福祉法人潤和会
- (2) 所 在 地 愛媛県西条市周布 326 番地
- (3) 設立認可年月日 平成 14 年 4 月 15 日
- (4) 法人事業

第 1 種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームなごみ	50 名	平成 15 年 4 月 1 日
軽費老人ホーム	ケアハウスひだまり	20 名	平成 15 年 4 月 1 日

第 2 種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
老人短期入所事業	ショートステイなごみ	10 名	平成 15 年 4 月 1 日
老人デイサービス事業	デイサービスセンターなごみ	30 名	平成 15 年 4 月 1 日

公 益 事 業

な し

その他事業

な し

3. 理事会状況

(1) 役員の構成（平成31年3月31日現在）

理 事 定数 6 名 （現員 6 名）
 監 事 定数 2 名 （現員 2 名）

(2) 理事会開催状況

開催年月日	決 議 事 項		出席者数／定数	
			理 事	監 事
平成30年5月25日	議案第 1 号	平成 29 年度事業報告書の承認について	5/6	2/2
	議案第 2 号	平成 29 年度決算報告書の承認について		
	議案第 3 号	就業規則の全部改正について		
	議案第 4 号	給与規程の一部改正について		
	議案第 5 号	退職金規程の一部改正について		
	議案第 6 号	育児・介護休業規程の一部改正について		
	議案第 7 号	慶弔見舞金規程の一部改正		
	議案第 8 号	評議員会（定時評議員会）の招集について		
平成31年3月15日	議案第 9 号	経理規程の一部改正について	6/6	2/2
	議案第 10 号	平成 30 年度資金収支第 1 次補正予算の認定について		
	議案第 11 号	平成 31 年度事業計画書の認定について		
	議案第 12 号	平成 31 年度資金収支当初予算の認定について		
	議案第 13 号	評議員会の招集について		

4. 評議員会状況

(1) 評議員の構成（平成31年3月31日現在）

評議員 定数 4名（現員4名）

(2) 評議員会開催状況

開催年月日	決議事項等		出席者数/定数
平成30年6月14日	議案第1号	平成29年度決算報告書の承認について	4/4
	報告事項	平成29年度事業報告書について	
平成31年3月26日	議案第2号	平成30年度資金収支第1次補正予算の承認について	4/4
	議案第3号	平成31年度事業計画の承認について	
	議案第4号	平成31年度資金収支当初予算の承認について	
	報告事項	法人の現況について	

5. 職 員 状 況

種 別	平成 31 年 3 月 31 日現在配置数				平成 30 年度中 退職者数	平成 30 年度中 入職者数
	特 養	短期入所	デイサービス	ケアハウス		
施設長	1					
事務長	1					
事務職員	2			(1)		
生活相談員	1〔1〕	1〔1〕	1	1	2	2
介護支援専門員	1					
機能訓練指導員	〔1〕		(1)			
看護職員	3	1〔3〕	3			1
介護職員	27	〔27〕	7〔3〕	2	11	13〔1〕
管理栄養士	2					
栄養士						
調理員	6〔1〕			2	1	1
用務員	1				1	
嘱託医	〔1〕					
介護補助員	〔1〕					
宿直員	〈6〉〔1〕					
合 計	70				15	18

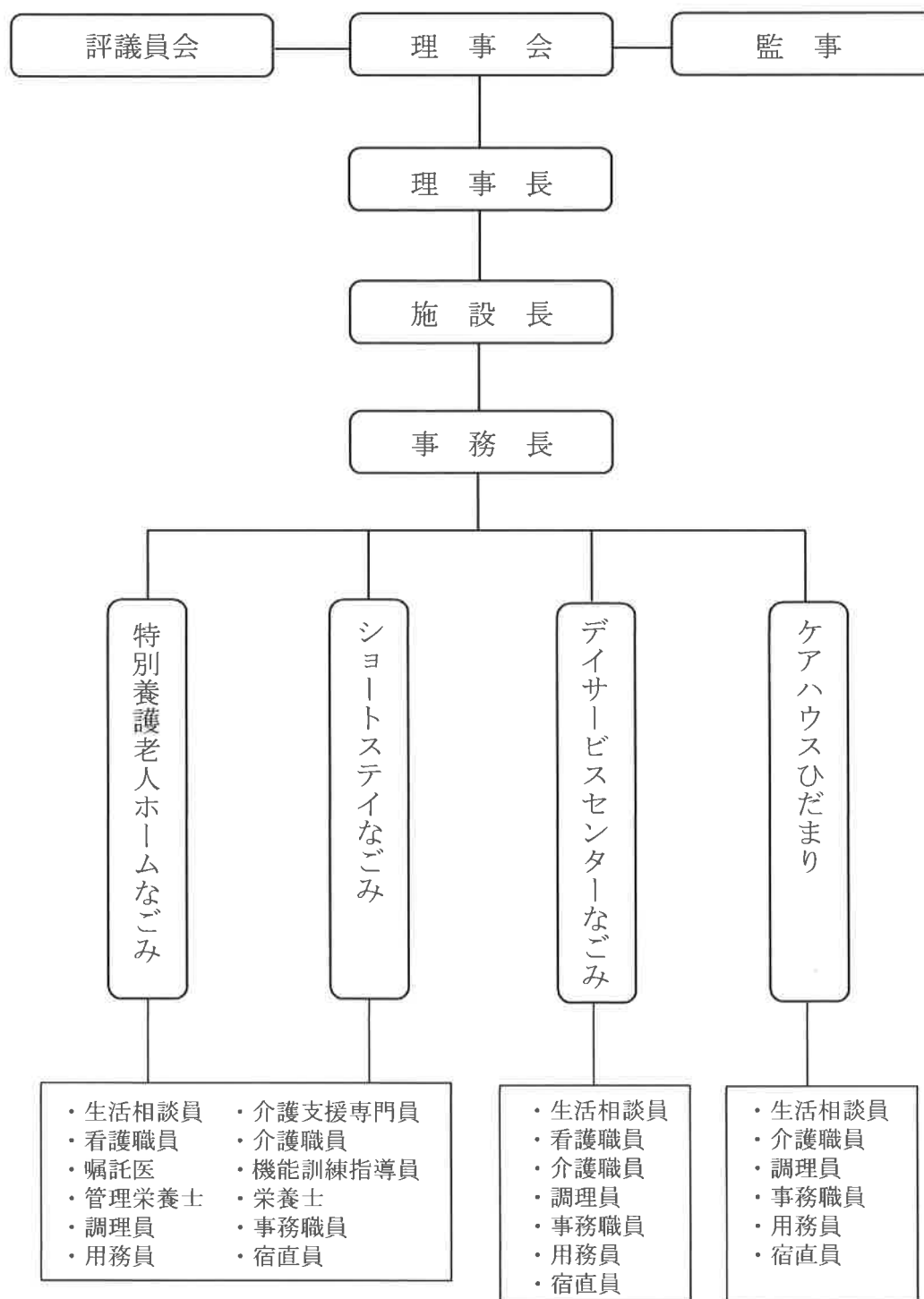
() 書きは同部門の他職種が兼務

〔 〕 書きは他部門の同職種が兼務

〈 〉 書きは他部門の他職種が兼務

【 】 書きは非常勤職員

6. 運営組織図 (平成31年3月31日現在)



7. 職 員 会 議 等

(1) 担 当 者 会

開 催 日 : 4 月 度 平成 30 年 4 月 6 日(金)
5 月 度 平成 30 年 5 月 16 日(水)
6 月 度 平成 30 年 6 月 20 日(水)
7 月 度 平成 30 年 7 月 18 日(水)
8 月 度 平成 30 年 8 月 29 日(水)
9 月 度 平成 30 年 9 月 26 日(水)
10 月 度 平成 30 年 10 月 17 日(水)
11 月 度 平成 30 年 11 月 21 日(水)
12 月 度 平成 30 年 12 月 19 日(水)
1 月 度 平成 31 年 1 月 16 日(水)
2 月 度 平成 31 年 2 月 20 日(水)
3 月 度 平成 31 年 3 月 20 日(水)

出 席 者 : 施設長、事務長、各事業所相談員、特養介護支援専門員、
看護リーダー、管理栄養士

協議事項 : 各事業所状況報告及び確認、各事業所運営に係る諸課題

8. 運 営 委 員 会

(1) 安全対策委員会（身体拘束廃止委員会兼ねる）

開 催 日 : 4 月 度 平成 30 年 4 月 14 日(水)
5 月 度 平成 30 年 5 月 12 日(水)
6 月 度 平成 30 年 6 月 9 日(水)
7 月 度 平成 30 年 7 月 14 日(水)
8 月 度 平成 30 年 8 月 4 日(水)
9 月 度 平成 30 年 9 月 8 日(水)
10 月 度 平成 30 年 10 月 13 日(水)
11 月 度 平成 30 年 11 月 13 日(水)
12 月 度 平成 30 年 12 月 13 日(水)
1 月 度 平成 31 年 1 月 12 日(水)
2 月 度 平成 31 年 2 月 9 日(水)
3 月 度 平成 31 年 3 月 9 日(水)

委員長：森川恵一

出席者：施設長、担当者会メンバー、特養フロアリーダー、他

活動内容：施設内のリスク対策全般（施設内研修 年2回）
身体拘束廃止についての勉強と対策（施設内研修 年2回）
高齢者虐待防止についての勉強と対策（施設内研修 年1回）
災害対策についての勉強と対策（施設内研修 年1回）

(2) 医療関係委員会

開催日：4月度 平成30年 4月 4日(水)
5月度 平成30年 5月 2日(水)
6月度 平成30年 6月 6日(水)
7月度 平成30年 7月 4日(水)
8月度 平成30年 8月 1日(水)
9月度 平成30年 9月 5日(水)
10月度 平成30年 10月 3日(水)
11月度 平成30年 11月 7日(水)
12月度 平成30年 12月 5日(水)
1月度 平成31年 1月 9日(水)
2月度 平成31年 2月 6日(水)
3月度 平成31年 3月 6日(水)

委員長：岡本美紀

出席者：施設長、担当者会メンバー、特養フロアリーダー、他

活動内容：医療関係知識等に係る介護職員への指導（施設内研修 年1回）
介護職員の医行為に係る安全対策
看取りケアについての勉強（施設内研修 年1回）
褥瘡防止への取り組み（施設内研修 年1回）

(3) 感染症対策委員会

開催日：平成30年 6月 6日(水)
平成30年 9月 5日(水)
平成30年 12月 5日(水)
平成31年 3月 6日(水)
〔インフルエンザ、ノロウイルス施設内蔓延警戒のための臨時開催〕
平成31年 1月 9日(水)
平成31年 2月 6日(木)

委員長：岡本美紀

出席者：施設長、担当者会メンバー、看護職員、特養フロアリーダー、他

活動内容：感染症（食中毒含む）対策全般（施設内研修 年2回）

(4) 行事・レク委員会

開催日：4月度 平成30年 4月 5日(木)
5月度 平成30年 5月 10日(木)
6月度 平成30年 6月 7日(木)
7月度 平成30年 7月 5日(木)
8月度 平成30年 8月 2日(木)
9月度 平成30年 9月 6日(木)
10月度 平成30年 10月 4日(木)
11月度 平成30年 11月 1日(木)
12月度 平成30年 12月 6日(木)
1月度 平成31年 1月 7日(木)
2月度 平成31年 2月 7日(木)
3月度 平成31年 3月 7日(木)

委員長：西川元基

出席者：各部署から1名以上の選出された者

活動内容：施設内行事、慰問、レク等の企画と実施

(5) 栄養委員会

開催日：4月度 平成30年 4月 10日(火)
5月度 平成30年 5月 8日(火)
6月度 平成30年 6月 12日(火)
7月度 平成30年 7月 10日(火)
8月度 平成30年 8月 14日(火)
9月度 平成30年 9月 11日(火)
10月度 平成30年 10月 10日(水)
11月度 平成30年 11月 13日(火)
12月度 平成30年 12月 11日(火)
1月度 平成31年 1月 8日(火)
2月度 平成31年 2月 12日(火)
3月度 平成31年 3月 12日(火)

委員長：渡部あゆみ

出席者：施設長、各部署から1名以上の選出された者

活動内容：給食関係についての勉強と改善
栄養ケアマネジメントに基づいての勉強、改善

9. 施設全体行事等

開催日	行事等内容
平成30年4月11日(水)	行事食(お花見弁当)
5月10日(木)	行事食(母の日御膳)
6月13日(水)	行事食(父の日御膳)
6月29日(金)	河北会館(KKG)慰問会〔コーラス・フラダンス〕
7月5日(木)	東予東中学校・東予西中学校 職場体験学習
7月26日(木)	よさこい連 祭彩華 慰問会〔よさこい踊り〕
7月20日(金)	行事食(うなぎ御膳)
8月18日(土)	なごみ祭り
9月11日(火)	行事食(敬老の日祝い御膳)
9月13日(木)	ふじ美ボランティア和 慰問会〔歌・踊り〕
9月21日(金)	丹原東中学校 福祉体験学習
9月25日(月)	東予西中学校 福祉体験学習
10/6(土)・7(日)・16(火)	近隣地区地方祭見学
10月16日(火)	行事食(秋祭り御膳)
10月26日(金)	坊ちゃん劇場 来所公演〔コメディーマюзカル〕
10月29日(月)	東予南幼稚園 慰問会〔園児による組体操・歌等〕
11月21日(水)	行事食(にぎり寿司御膳)
12/11(火)・12(水)・24(月)	各事業所クリスマス会
12月19日(水)	KIDオールスターズ 慰問会〔サックス演奏〕
12月20日(木)	多賀小学校4年生施設訪問〔歌・楽器演奏・ふれあい〕
12月20日(木)	行事食(クリスマスメニュー)

12月28日(金)	餅つき大会
平成31年1月1日(祝)	行事食（おせち料理）
1月23日(水)	賀寿の祝い会
2月2日(土)	行事食（節分の日御膳）
3月4日(金)	ひな祭り会・東予南保育園 慰問会
3月7日(木)	行事食（桃の節句御膳）
3月12日(火)	たから幼稚園 慰問会〔歌・ふれあい〕

◇ 他、各事業所にて季節に応じた外出等の催しを年間通じて多数実施。



10. 職員研修等

(1) 施設内研修 等

開催日	研 修 内 容	参加者数
平成30年4月25日(水)	第1回福祉実務能力向上研修	13名
5月23日(水)	第2回福祉実務能力向上研修	12名
6月11日(月)	第1回リスクマネジメント研修	26名
6月27日(水)	第3回福祉実務能力向上研修	12名
7月6日(金)	第1回感染症対策(食中毒関係)研修	27名
7月25日(水)	第4回福祉実務能力向上研修	11名
8月13日(月)	高齢者虐待防止及び身体拘束廃止に関する研修	22名
8月22日(水)	第5回福祉実務能力向上研修	12名
9月19日(月)	褥瘡予防に関する研修	25名
9月26日(水)	第6回福祉実務能力向上研修	12名
10月24日(水)	第7回福祉実務能力向上研修	12名
11月5日(月)	災害対策に関する研修	39名
11月5日(月)	介護職員の医行為に関する研修	39名
11月20日(火)	高年齢職員の指導力向上研修(60歳以上対象)	8名
11月28日(水)	総合火災訓練(昼間想定)消防署検証訓練	60名
11月28日(水)	第8回福祉実務能力向上研修	10名
12月17日(月)	シェイクアウト愛媛 ～県民総ぐるみ地震防災訓練～	124名
12月20日(木)	第2回感染症対策研修	28名
12月26日(水)	第9回福祉実務能力向上研修	8名
平成31年1月23日(水)	第10回福祉実務能力向上研修	10名
2月27日(水)	第11回福祉実務能力向上研修	11名
(第1班) 3月4日(月) (第2班) 3月11日(月)	第2回リスクマネジメント研修 救命救急・AED使用方法講習	(第1班) 10名 (第2班) 11名
3月12日(火)	看取りに関する研修	27名
3月27日(水)	第12回福祉実務能力向上研修	10名
3月29日(金)	総合火災訓練(夜間想定)	30名
施設内研修等 総数 25 施設内研修等 延参加者数 609名		

(2) 施設外研修 等

開催日	研 修 内 容	主催者	出席者数
平成30年4月11日(水)	食材展示会および研修	日本食研株式会社	2名
4月14日(土)	平成30年度診療報酬・介護報酬改定にともなう研修会	愛媛県栄養士会	2名
4月19日(木)	東予地区老人福祉施設協議会 総会・施設長研修会	東予地区老人福祉施設協議会	1名
5月15日(火)	愛媛県福祉・介護関係事業所合同入職式	愛媛県社会福祉協議会	1名
5月18日(金)	愛媛県老人福祉施設協議会 総会・施設長研修会	愛媛県老人福祉施設協議会	2名
6月4日(金)	第14回愛媛県老人福祉施設大会	愛媛県老人福祉施設協議会	5名
6月6日(水)	東予地区老人福祉施設協議会研修事業検討会	東予地区老人福祉施設協議会	2名
6月7日(木)	社会保険事務講習会	愛媛社会保険協会	1名
6月22日(金)	防災に関する社会福祉施設管理者説明会	愛媛県保健福祉部	1名
7月4日(水)～5日(木)	四国老人福祉施設関係者研究大会	四国老人福祉施設協議会	1名
7月13日(金)	新任職員研修会	東予地区老人福祉施設協議会	1名
7月17日(火)	管理職員研修会	愛媛県老人福祉施設協議会	2名
7月20日(金)	拘縮と褥瘡ケアにプラスする研修会	愛媛県社会福祉協議会	2名
7月30日(月)	社会福祉法人セミナー	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	2名
8月4日(土)	看護師職能研修会 リーダーナースの役割とマネジメント	日本看護学会	1名
8月11日(土)	デイサービスセンター職員研修会	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
8月18日(土)	高齢者の褥瘡と皮膚ケアについての研修会	愛媛県看護協会	1名
9月12日(火)	生活相談員研修会	東予地区老人福祉施設協議会	1名
9月19日(金)	年金委員・健康保険委員研修会	今治年金事務所・全国協会けんぽ愛媛支部	1名
9月22日(土)	介護を科学する「和光方式」による自立支援研修会	中予地区・愛媛県老人福祉施設協議会	1名
9月25日(火)	平成30年度巡回型介護教室 施設訪問型 スタッフ派遣	東予地区老人福祉施設協議会	2名
9月27日(木)	軽費・ケアハウス職員研修会	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
9月28日(金)	事務職員研修会	東予地区老人福祉施設協議会	2名
9月29日(土)	医療的ケア指導者研修会	介護労働安定センター愛媛支部	1名
10月4日(木)	全国老人福祉施設協議会トップセミナー	全国老人福祉施設協議会	1名
10月5日(金)	栄養士研修会	東予地区老人福祉施設協議会	1名
10月12日(金)	調理員研修会	東予地区老人福祉施設協議会	2名
10月24日(水)	防災に関する研究・研修会	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
10月30日(火)	社会福祉法人セミナー	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	1名
11月6日(火)	平成30年度巡回型介護教室 施設訪問型 スタッフ派遣	東予地区老人福祉施設協議会	2名

開催日	研 修 内 容	主催者	出席者数
11月12日(月)	施設長と防災担当職員等との合同研修会	東予地区老人福祉施設協議会	1名
11月13日(火)	年金委員・健康保険委員研修会	日本年金機構・全国協会けんぽ愛媛支部	1名
11月14日(水)	機能訓練指導員研修会	東予地区老人福祉施設協議会	1名
11月15日(木)	平成30年度巡回型介護教室 認知症対応 スタッフ派遣	東予地区老人福祉施設協議会	6名
11月16日(金)	多職種連携の誤嚥性肺炎防止に関する研修会	愛媛県看護協会	1名
11月17日(土)	デイサービス直接処遇職員研修会	東予地区老人福祉施設協議会	1名
11月21日(水)	介護職員研修会	東予地区老人福祉施設協議会	2名
11月30日(金)	施設ケアマネジメント研修会	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
11月30日(金)	愛媛県社会福祉法人経営青年会研修会	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	1名
12月4日(火)	介護支援専門員研修会	東予地区老人福祉施設協議会	2名
12月4日(火)～5日(水)	平成30年度四国ブロックカンントリーミーティング in 高知	四国老人福祉施設協議会	1名
12月8日(土)	医療的ケア指導者研修会	介護労働安定センター愛媛支部	1名
12月14日(金)	社会福祉法人セミナー	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	1名
12月21日(金)	介護現場におけるリスクマネジメント研修会	東予地区・愛媛県老人福祉施設協議会	2名
平成31年1月18日(金)～19日(土)	四国老人福祉施設セミナー	四国老人福祉施設協議会	2名
1月24日(木)	社会福祉法人施設長等研修会	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	2名
1月28日(月)	全国老人福祉施設協議会新春トップセミナー	全国老人福祉施設協議会	1名
1月28日(月)	介護職員技術向上研修会	愛媛県社会福祉協議会	1名
2月2日(土)	四国老人福祉学会愛媛大会	四国老人福祉学会	1名
2月5日(火)	働き方改革セミナー	愛媛県・愛媛県法人会連合会	1名
2月6日(水)	看護職員研修会	東予地区老人福祉施設協議会	2名
2月13日(水)	社会福祉法人の法令遵守研修会	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	2名
2月15日(金)	東予地区老人福祉施設協議会 総会	東予地区老人福祉施設協議会	1名
2月18日(月)	西条市の生活支援体制整備事業について	西条市	1名
2月28日(木)	介護職員研修会	東予地区老人福祉施設協議会	1名
3月1日(水)	愛媛県老人福祉施設協議会 総会・施設長研修	愛媛県老人福祉施設協議会	2名
3月12日(火)	軽費・ケアハウス経営戦略会議	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
3月18日(月)	デイサービスセンター経営戦略会議	愛媛県老人福祉施設協議会	1名
(施設外研修等 総数) 58 (施設外研修等 延参加者数) 86 名			

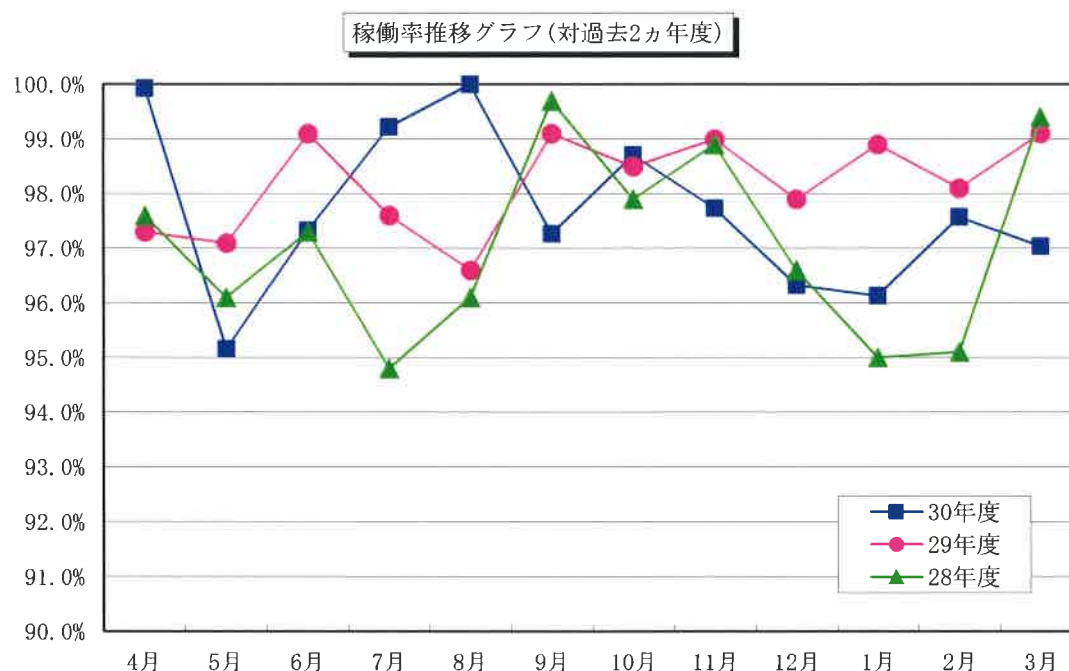
1 1. 特別養護老人ホームなごみ事業

(1) 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数(人)	1,499	1,475	1,460	1,538	1,550	1,459
稼働率	99.9%	95.2%	97.3%	99.2%	100.0%	97.3%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数(人)	1,530	1,466	1,493	1,490	1,366	1,504
稼働率	98.7%	97.7%	96.3%	96.1%	97.6%	97.0%

(注)実績延人数には長期入院時等、介護保険請求対象外となるものは含まれません。

平成 30 年度計	
実績延人数	17,830
年間稼働率	97.7%

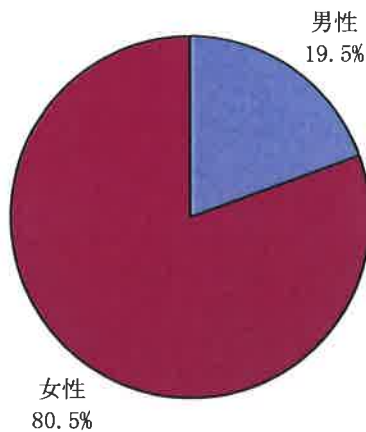


平成 30 年度の平均入所稼働率は 97.7%であり、これは前年度の 98.2%に対して－0.5%である。対過去 2 カ年度の各月稼働率推移グラフからも分かるように、ほぼ例年どおり 95%ラインのうえで稼働率を推移させることができた。

高稼働率の維持が高収入の必須要件であるが、入所者の重度化により、入退所の増加や利用料を算定できない 6 日以上長期入院者が多く発生することで満室状態を維持するということは難しいが、可能な範囲での努力の結果が現れている。

(2) 入所者男女別割合と要介護度状況

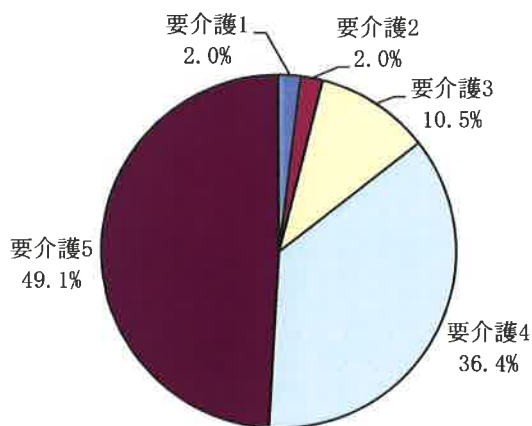
平成30年度入所者男女別割合



平成30年度中の入所者男女別割合は、女性が80.5%、男性が19.5%であった。

なお、前年度は女性83.6%、男性が16.4%であったので、若干、男性の割合が増加した。

平成30年度入所者要介護度別割合



平成30年度中の入所者要介護度別割合は、要介護度5が49.1%と最も多く、次いで多い要介護度4と合わせると85.5%になる。

特養は、介護度3以上の入所が原則であり、入所指針により重度者が優先入所となっている。

(3) 入所者平均要介護度

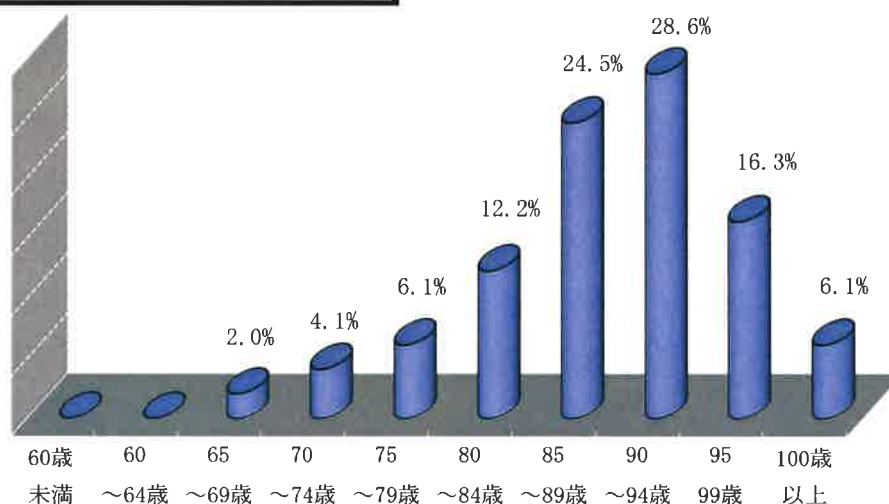
(単位：要介護度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3

各月末時点での入所者平均要介護度は、年間として4.3であり、年間の平均要介護度は4.3であった。

(4) 入所者年齢状況（平成31年3月31日時点）

平成30年度末日時点の入所者年齢層別割合



30年度末時点の 最高・最少・平均年齢	最高 年齢	103歳5ヶ月	最少 年齢	68歳1ヶ月	平均 年齢	88.8歳
------------------------	----------	---------	----------	--------	----------	-------

平成30年度末日時点の入所者の年齢状況は、90～94歳が28.6%と最も多くなっている。また、最高年齢者103歳5ヶ月、最少年齢者68歳1ヶ月、平均年齢は88.8歳であった。100歳以上の入所者は3名いらっしゃる。

(5) 入所者の入所期間状況（平成31年3月31日時点）

（単位：人）

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 9年未満	9年以上	合 計
男 性	3	3	4		1		11
女 性	5	12	9	4	4	4	38
合 計	8	15	13	4	5	4	49
割 合	16.3%	30.6%	26.5%	8.2%	10.2%	8.2%	100.0%

平均入所期間	男性	32.8ヶ月	女性	54.1ヶ月	全体	49.3ヶ月
--------	----	--------	----	--------	----	--------

平成30年度末日時点の入所者の入所期間状況は、入所期間1年以上3年未満が15名と全体の30.6%を占めており、平均入所期間は49.3ヶ月（約4年）となっている。入所者の重度化により入所されてから退所されるまでの期間は、短くなる傾向にある。

(6) 入退所状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入 所		1	2			
退 所	1	2				2
月末在所者	49	48	50	50	50	48
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入 所	2			2		1
退 所			1	1	1	1
月末在所者	50	50	49	50	49	49

(注 1)入退所数は各月中の入退所者数です。

平成 30 年度 計	
入所総数	8
退所総数	9

平成 30 年度における入退所状況は、退所者数 9 名、入所者数 8 名であった。なお、前年度は退所者 7 名、入所者 8 名であったので、ほぼ前年度並みの入退所者数であった。

9 名の退所者は、8 名がお亡くなりになられて、1 名は医療機関へ移られることでの退所であった。

入所者 8 名の要介護度は、要介護度 4・5 がそれぞれ 4 名ずつであった。

(7) 入所待機者(入所申込者)状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
各月末時 待機者数	271	273	279	277	281	288
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	279	287	289	270	276	272

平成 30 年度の各月末時点での待機者数をみると、約 270～290 名で推移しており、年度末時点で 272 名の待機者であった。

平成 27 年度施行の介護保険制度改正により、原則、特養入所は要介護度 3 以上となった影響から、新規申込者は以前と比較して減少傾向にあるが、それでも待機者数は多い状況である。

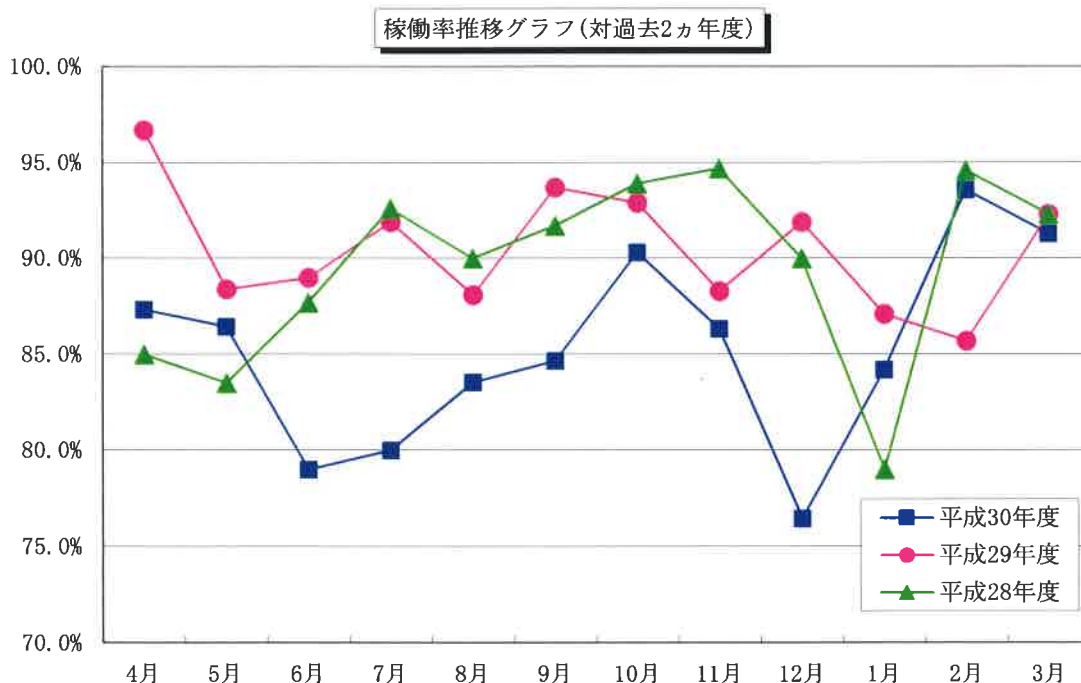
入退者状況で報告のとおり、年間の入退所者数は毎年 10 名程度であるので、入所申込みから実際の入所となるのは容易なことではない。

12. ショートステイなごみ事業 (短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護)

(1) 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数(人)	262	268	237	248	259	254
稼働率	87.3%	86.5%	79.0%	80.0%	83.5%	84.7%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数(人)	280	259	237	261	262	283
稼働率	90.3%	86.3%	76.5%	84.2%	93.6%	91.3%

30年度 計	
実績延人数	3,110
年間稼働率	85.2%

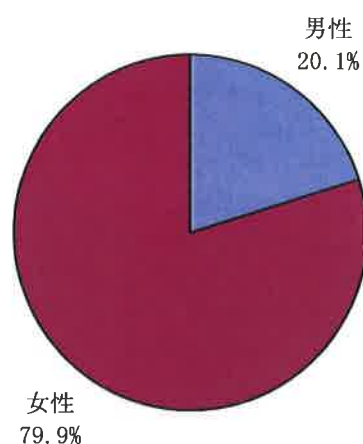


平成30年度の平均稼働率は85.2%、前年度の90.5%に対して-5.3%であった。グラフからも年度後半では例年並みの稼働に戻したものの、例年よりも低い稼働率で推移している。

今後は、90%ライン前後での稼働が維持できるよう、新規利用者等の確保が求められる。

(2) 利用者男女別割合と要介護度状況

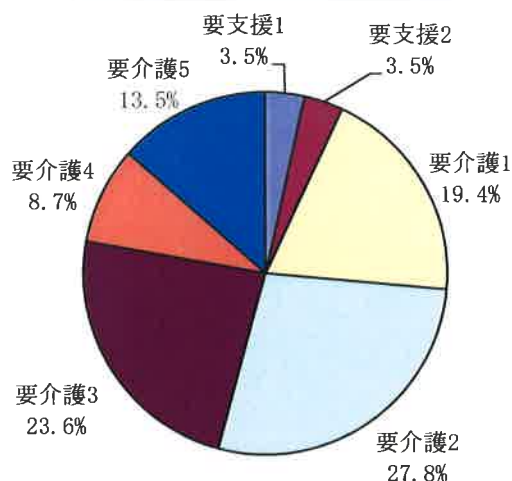
平成30年度利用者男女別割合



平成30年度中の利用者男女別割合は、女性が79.9%、男性が20.1%であった。

なお、前年度割合は、女性70.9%男性29.1%であり、前年度に比べて女性の割合が高くなっている。

平成30年度利用者要介護度別割合



平成30年度中の利用者要介護度別割合は、要支援者は全体の7.0%にすぎない。

要介護度者では、要介護度2が27.8%と最も多いが、要介護度4・5は少なく、軽度者の割合が高い傾向にある。

(3) 利用者平均要介護度

(単位：要介護度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	2.6	2.6	2.5	2.4	2.3	2.5	2.5	2.5	2.4	2.5	2.6	2.7	2.5

(注1) 要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として全体の平均介護度を算出しています。

平成30年度の各月末時点での入所者平均要介護度は、2.3～2.7で年間推移し年間平均要介護度は2.5であった。

(4) 利用者年齢状況 (利用者平均年齢)

(単位：歳)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月次平均年齢	90.7	90.9	91.6	90.4	90.6	90.5	89.8	90.3	89.7	88.9	89.1	89.1	90.2

平成30年度ショートステイ利用者の年度とおしての平均年齢は、90.2歳であり、これは特養入所者平均年齢の88.8歳より高く、高齢な利用者が多い傾向にある。

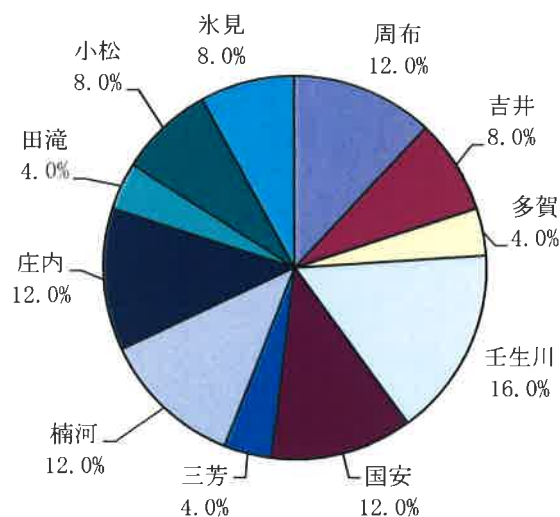
(5) 地区別利用者状況 (平成31年3月中利用者)

(単位：人)

内 訳	旧東予市									旧小松町		
	周布	吉井	多賀	壬生川	国安	吉岡	三芳	楠河	庄内	小松	石根	
	3	2	1	4	3		1	3	3	2		
旧市町計	20									2		

内 訳	旧丹原町					旧西条市					合計
	丹原	徳田	田滝	田野	中川	氷見	禎瑞	橘			
			1			2					
旧市町計	1					2					25

地区別利用者割合



平成30年度末となる平成31年3月中の利用者について、居住地を小学校区別にみると、当事業所の近隣地区をはじめとする旧東予、旧周桑郡の広域から利用者があることが見受けられる。

(6) 利用頻度状況（平成31年3月中利用者）

1利用者が1ヶ月中にショートステイを利用する回数

	月1回	月2回	月3回	月4回	月5回	合 計
人 数	12	7	4	1	1	25
割 合	48.0%	28.0%	16.0%	4.0%	4.0%	100.0%

1回のショートステイ利用で滞在する利用日数

	3日間以内	4～7日間	8～14日間	15～20日間	21日以上	合 計
人 数	12	24	9	1	1	47
割 合	25.5%	51.1%	19.1%	2.1%	2.1%	100.0%

1利用あたりの平均滞在日数	6.0 日
---------------	-------

平成30年度末となる平成31年3月中の利用者について、その利用頻度をみると1利用者が1ヶ月にショートステイを利用する回数は、月1回の利用が最も多く全体の48.0%であった。

1利用あたりの滞在日数では、4～7日間の利用が全体の51.1%と最も多く、1利用あたりの平均滞在日数は6.0日であった。



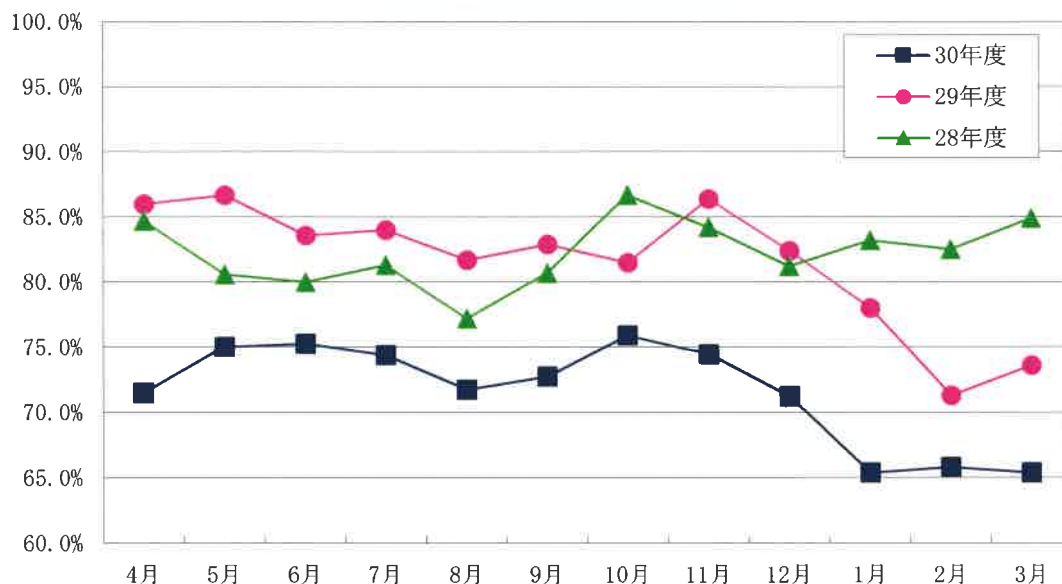
13. デイサービスセンターなごみ事業 (通所介護・介護予防総合支援事業)

(1) 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数(人)	515	540	587	558	538	502
稼働率	71.5%	75.0%	75.3%	74.4%	71.7%	72.8%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数(人)	592	536	513	451	454	510
稼働率	75.9%	74.4%	71.3%	65.4%	65.8%	65.4%

30年度 計	
実績延人数	6,296
年間稼働率	71.6%

稼働率推移グラフ(対過去2ヵ年度)



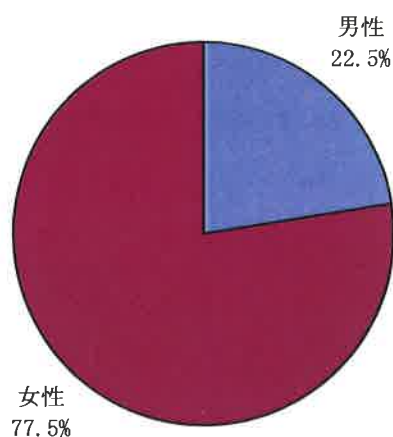
平成30年度の平均稼働率は71.6%、前年度の81.5%に対して－9.9%であった。

平成30年度介護報酬改正は、デイサービス事業にとってマイナス的な改正、かつ改正に対応して整備した体制は、稼働率低下にもつながるものとせざるをえなかった。

利用者ニーズは、機能訓練を実施するデイケアであること、また通所系の事業所は、需要と供給が特養と異なり既に逆転していること等から、高稼働率の維持には積極的なこちらからのアプローチが必要である。

(2) 利用者男女別割合と要介護度状況

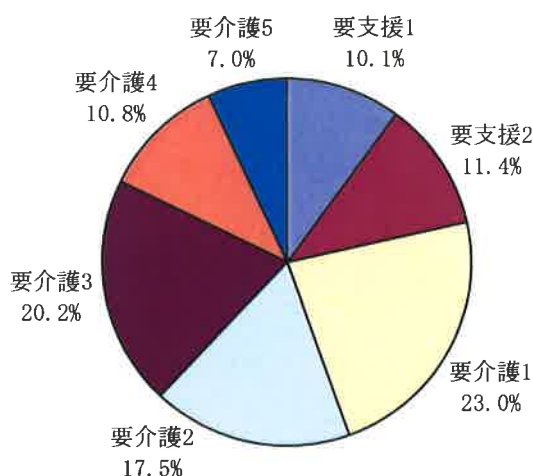
平成30年度利用者男女別割合



平成30年度中の利用者男女別割合は、女性が77.5%、男性が22.5%であった。

なお、前年度割合は、女性69.1%、男性30.5%であったので、女性利用者の割合がさらに高くなった。

平成30年度利用者要介護度別割合



平成30年度中の利用者要介護度別割合は、最も多いのが要介護度1で全体の23.0%であり、軽度の利用者が主となっている。

要支援者は、平成29年度からスタートした総合支援事業利用者となるが、全体の21.5%を占めている。

(3) 利用者平均要介護度

(単位：要介護度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1

(注1) 要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として全体の平均介護度を算出しています。

平成30年度の各月末時点での利用者の平均要介護度は、各月2.0以上となっているが、経営的側面からみれば要支援者よりも要介護度の新規利用者獲得に努め、この平均介護度を上げることが求められる。

(4) 利用者年齢状況 (利用者平均年齢)

(単位：歳)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月次平均年齢	88.9	88.4	88.6	88.7	88.5	88.7	88.8	88.6	88.5	88.0	87.9	87.9	88.5

平成30年度デイサービス利用者の年度とおしての平均年齢は、88.5歳であり、高齢な利用者が多い傾向にある。

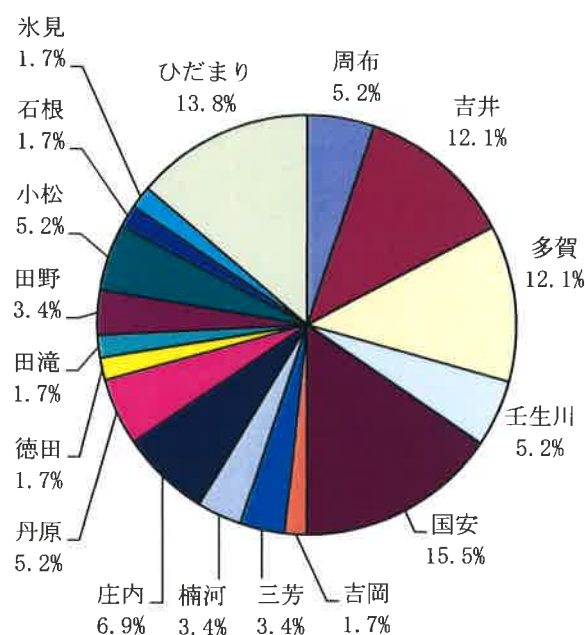
(5) 地区別利用者状況 (平成31年3月中利用者)

(単位：人)

内 訳	旧東予市									旧小松町		
	周布	吉井	多賀	壬生川	国安	吉岡	三芳	楠河	庄内	小松	石根	
	3	7	7	3	9	1	2	2	4	3	1	
旧市町計	38									4		

内 訳	旧丹原町					旧西条市				ひだまり	合計
	丹原	徳田	田滝	田野	中川	氷見					
	3	1	1	2		1					
旧市町計	7					1				8	58

地区別利用者割合



平成30年度末となる平成31年3月中の利用者について居住地を小学校区別にみると、当事業所近隣地区が多い傾向であるものの旧東予、旧周桑郡の広域から利用者がある状況となっている。

また、併設施設であるケアハウスひだまりは、全入居者20名中8名の利用となっている。

(6) 利用頻度状況（平成31年3月中利用者）

1 利用者が1週間に利用する基本回数パターン

	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上	合 計
人 数	8	21	11	10	8	58
割 合	13.8%	36.2%	19.0%	17.2%	13.8%	100.0%

平成30年度末となる平成31年3月中の利用者における利用頻度について、1利用者が1週間にデイサービスを利用する基本回数は、週2回利用が最も多く全体の36.2%となっている。

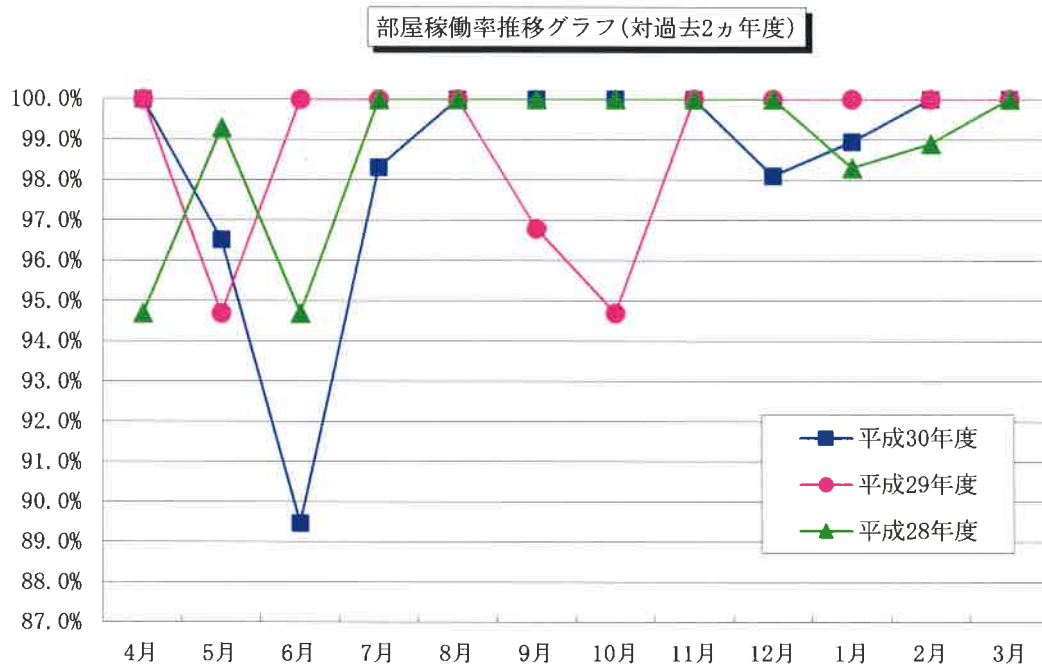
また、週5回以上の利用者も多く、なかには1週間中の全営業日に利用されている方もいる。



14. ケアハウスひだまり 事業

(1) 居室稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間稼働率
月間稼働率	100%	96.5%	89.5%	98.3%	100%	100%	100%	100%	98.1%	98.9%	100%	100%	98.4%



平成30年度の年間居室稼働率は98.4%、前年度98.9%に対して－0.5%と、ほぼ同様であった。

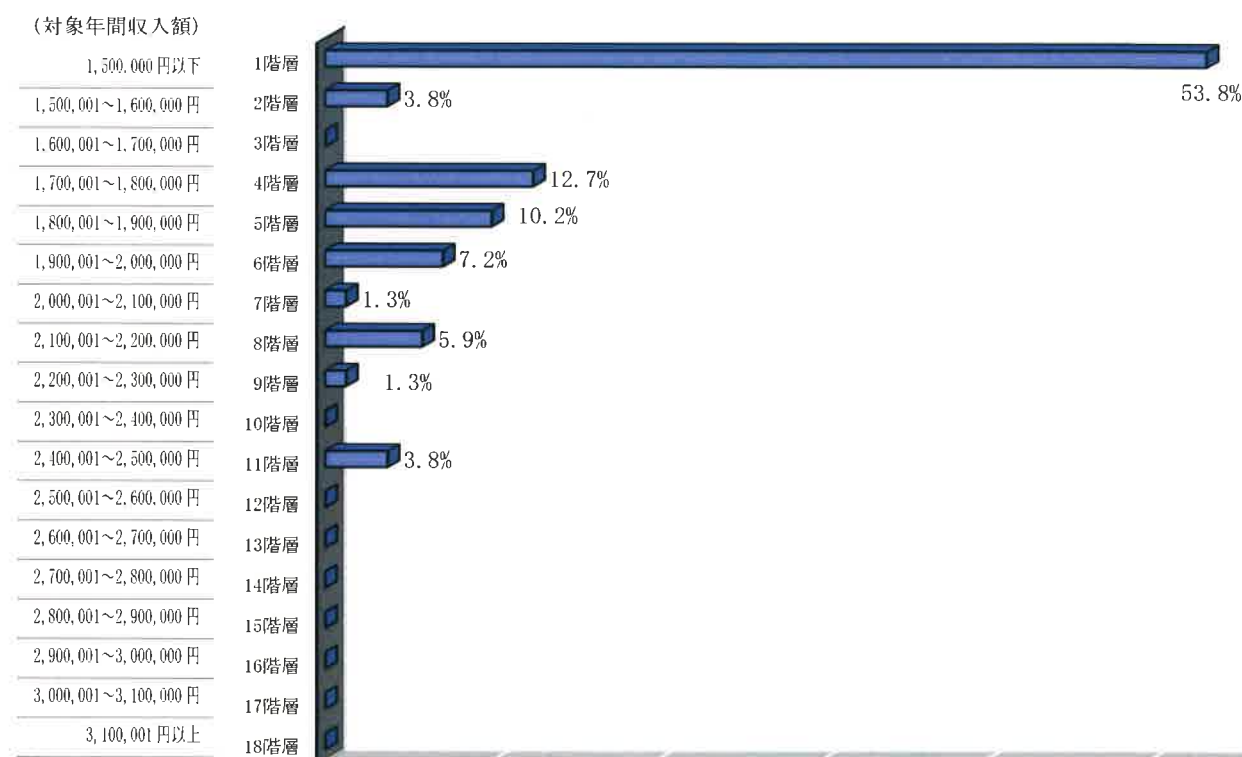
ケアハウスの場合、申込者はご自身の将来のためにと入居申し込みをされているケースも多く、いざ自分が入居できるとなられても、まだ慣れた自宅で生活されたいとのことで簡単に入居いただけないことも少なくない、待機者の数も少なく、特養とは異なり空室が出た場合の対応がスムーズに行かない場合も多いが、平成30年度も退居者が出た際の新規入居者確保がスムーズに行えた結果、高稼働率を維持できた。

(2) 利用料金自己負担額に関わる入居者収入階層状況

(単位：人)

階層区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1階層	12	12	11	10	10	10	10	10	10	10	11	11	127
2階層				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
3階層													
4階層	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
5階層	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
6階層				1	2	2	2	2	2	2	2	2	17
7階層	1	1	1										3
8階層	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
9階層	1	1	1										3
10階層													
11階層	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
12階層													
13階層													
14階層													
15階層													
16階層													
17階層													
18階層													
合 計	20	20	18	19	20	20	20	20	20	19	20	20	236

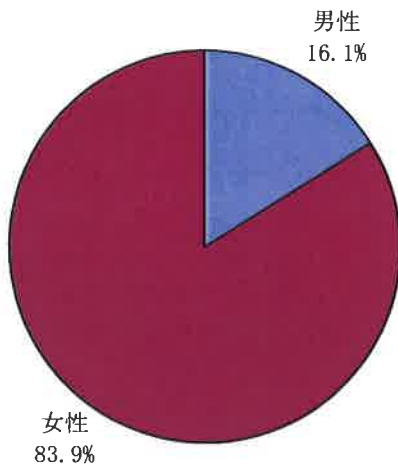
(注 1) ケアハウス事務費補助金算定の基礎となる各月 1 日時点の入居者数です。



入居者の利用料金自己負担額、また愛媛県からの事務費補助金額は、各入居者の前年中の対象収入額で位置付けられる階層で決定されるが、平成 30 年度も例年のように階層 1 の方が全体の 53.8%と最も多い。

(3) 入居者男女別割合と要支援・要介護度状況

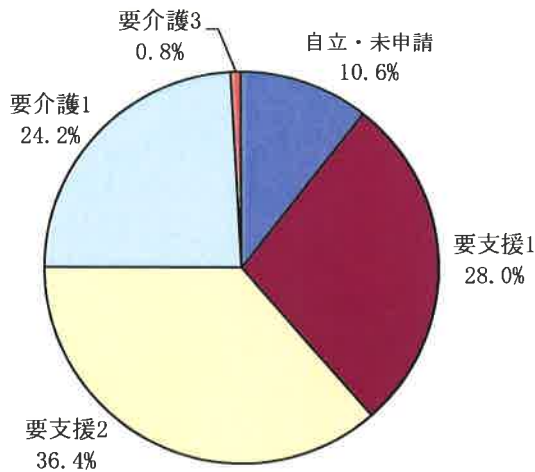
平成30年度入居者男女別割合



平成30年度中の入居者男女別割合は、女性が83.9%、男性が16.1%であった。

なお、前年度割合は、女性84.9%男性15.1%であった。

平成30年度入居者要介護度別割合



平成30年度中の入居者要支援・要介護度別割合は、最も多いのが要支援2で36.4%である。

入居者のうち75.0%が自立もしくは要支援者となっているが、以前と比較すると徐々にではあるが入居者の要介護度化が進んでいる傾向にある。

なお、要介護度3の方は入院時に一時的に認定を受けたケースであり、現在は軽度化している。

(4) 要支援者・要介護度認定者における平均要介護度

(単位：要介護度)

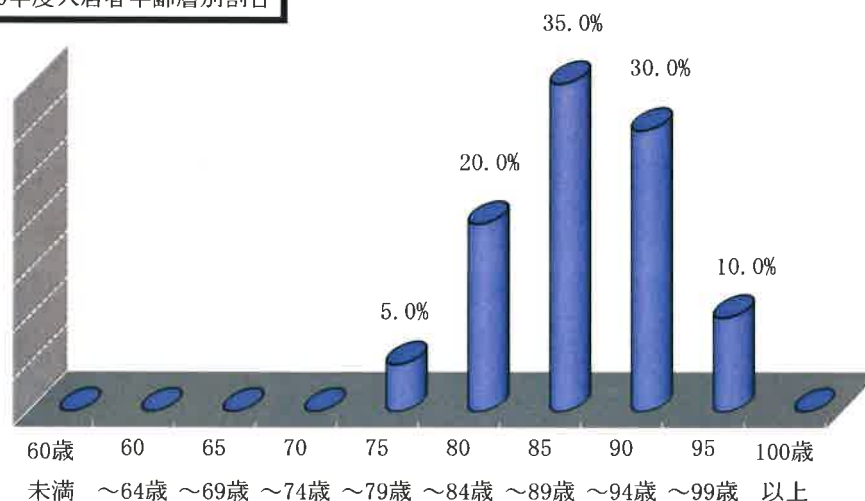
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5

(注1) 要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として全体の平均介護度を算出しています。

要支援もしくは要介護認定を受けている入居者について、その平均要介護度は、年間平均で0.5であった。

(5) 入居者年齢状況 (平成31年3月31日時点)

平成30年度入居者年齢層別割合



30年度末時点の 最高・最少・平均年齢	最高 年齢	98歳	最少 年齢	78歳	平均 年齢	88.3歳
------------------------	----------	-----	----------	-----	----------	-------

平成30年度末日時点の入居者の年齢状況は、85～89歳が35.0%と最も多くなっている。また、最高年齢者は98歳、最少年齢者は78歳、平均年齢は88.3歳であった。

(6) 入居者の介護保険サービス利用状況 (平成31年3月中入居者)

(単位：人)

利用なし	訪問介護		デイサービス	デイケア	福祉用具貸与	訪問看護	訪問リハビリ	利用者合計
3	14		9	0	8	0	2	33
	身体介護	生活援助						
	5	14						

(注1) 平成30年度末月(平成31年3月)入居者における内容です。

(注2) 1人の入居者が複数の居宅サービスを利用しているケースもあることから合計は定員数(20名)を上回ります。

(注3) 利用者合計数には、利用なしの者を含んでいません。

要支援、要介護認定を受けている方の多くは、介護保険居宅サービスを利用されており、訪問介護の利用が最も多く14名となっている。

なお、デイサービスにて報告のとおり、デイサービス利用者9名のうち8名は併設のデイサービスセンターなごみを利用している。

(7) 入退居状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入 居			2			
退 居		2				
月末在居者	20	18	20	20	20	20
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入 居				1		
退 居			1			
月末在居者	20	20	19	20	20	20

(注 1)入退居者数は各月中の入退居者数です。

平成 30 年度 計	
入居総数	3
退居総数	3

平成 30 年度中の入退居者は、入居 3 名、退居 3 名であった。

退居者 3 名の退居理由は、身体機能の低下によりケアハウスでの生活が困難となり、他の介護施設へ入所された方、家族と同居するために退居された方、遠方に住む家族の地域への施設移動であった。

(8) 入居待機者(入居申込者) 状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
各月末時	26	22	22	21	21	21
待機者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	21	21	22	21	22	23

平成 30 年度末での入居申込者数は 23 名である。入居に係る相談件数は多いものの、明らかにケアハウスでの生活が介護保険居宅サービスを利用されたとしても困難と見受けられる方には申し込みをお断りさせて頂いているため、大きな待機者の増加はみられない。

申し込み後も定期的に状況把握に努め、申し込み後の介護度の上昇、他施設への入所等あれば、申込者名簿から削除させていただく等の対応を行っている。

また待機者には、入居申込みをされていても在宅で元気に暮らしている方も多く、直ぐに入居を望まれている方は少ない。

15. そ の 他

(1) 特別養護老人ホームなごみ家族会

特養なごみ入所者のため、家族相互の連携及び施設への運営協力を目的とする特別養護老人ホームなごみ入所者のご家族で構成される家族会により、平成30年度においても次のような積極的な活動、施設への支援をいただいた。

なごみ家族会平成30年度総会

開催日	平成30年4月14日(土)
協議事項	・平成29年度収支決算 ・平成30年度なごみ家族会活動の取り組みについて ・家族会と施設との意見交換

なごみ家族会 平成30年度第1回奉仕活動

開催日	平成30年5月12日(土)
内 容	施設敷地内の草引き、清掃

なごみ家族会 平成30年度第2回奉仕活動

開催日	平成30年11月10日(土)
内 容	施設敷地内の草引き、清掃

【平成30年度 家族会からの寄贈品等】

◇ 車 椅 子	3 台
◇ 入所者おやつ提供	饅頭 60 個
◇ クリスマス会経費援助	1 階 50,000 円 2 階 50,000 円